

令和8年度 第1回宝達志水町文化財保護審議会 議事録

日 時：令和8年5月26日（火） 午前10時00分～11時00分
場 所：宝達志水町生涯学習センター 2階 第一会議室

出席者

委 員：村上委員、末森委員、大窪委員、出倉委員、金山委員
事務局：細江教育長、村井所長、松浦課長、階戸課長補佐、竹森学芸員、
 麦居学芸員、中田学芸員、清澤学芸員

次 第

- 1 開 会
- 2 会長あいさつ
- 3 教育長あいさつ
- 4 議題
 - (1) 令和8年度文化財保護事業計画について
 - (2) 令和8年度能登文化財保護連絡協議会について
- 5 その他
 - (1) 事務連絡等
 - (2) 意見交換
- 6 閉会あいさつ（副会長）

議事録

（令和8年度文化財保護事業計画について）

委 員：昨年被害のあったゼンショウジキクザクラについて対応いただきありがとうございます。所有者もよろこんでいました。白ヶ峰往来については、引き続き景観確保に努めていただけるようお願いいたします。

事務局：白ヶ峰往来については例年のおり除草作業を実施予定です。限りある予算の中で、できるだけご期待に添えるよう進めて参ります。

委 員：校下の子どもたちが末森城跡を見学することについては定着してきました。岡部家や喜多家についても、子どもたちが何らかのかたちで利用し、郷土愛を育むことのできる事業を考えても良いと思います。

事務局：年度初めの校長会で、喜多家や岡部家を含む文化財関係施設を紹介しました。今後もこのようなかたちで働きかけを進めて参ります。また、公民館でも7月に下呂市との姉妹都市交流で下呂市の本町の小学生が一

緒に喜多家を見学することで準備を進めています。こうしたことを足がかりに郷土愛を深めていきたいと思えます。

委員：文化観光という話が出ました。受け入れ等の責任の主体はどちらですか。たとえば、岡部家については土日しか開放されていませんが、その他の日の需要もあるかと思えます。どこに、どのようなかたちで申込み、公開に対してだれが(どこが)責任をもって管理していくのか、と聞かれた場合は生涯学習課ですか。

事務局：「観光」ということで回答が難しい。文化財施設については事前に要望があれば生涯学習課の職員が対応しています。今後、関係課を含めて連携して対応していく、ということが現時点の回答となります。

委員：宝達山は町民のシンボルであり、重要な観光スポットです。金山とそこで労働に従事した坑夫たち、樽見滝とそれにまつわる伝承などがあり、宝達山には町の歴史に関わるものが残されています。そうしたスポットにアクセスしやすいよう林道などを整備し、関係する各課と連携して、町内外の方を案内しやすいようにしてはどうでしょうか。

事務局：林道には管理者を明示する必要があります。樽見滝に至る林道は個人のものであるので、町で整備することは難しいと思えます。

委員：宝達山は志雄側からは見えにくい。宝達志水町の中でも志雄側の人からすると「宝達山は押水のもの」という感覚があります。我々ができることは、水源の森として志雄との関わりも深いことを積極的に発信していくことだと思えます。

事務局：今年度は「宝達山」をテーマに企画展を実施します。展示を通じて発信したいメッセージなどありましたら、学芸員に相談してもらえたらと思えます。

委員：宿の在所から延びる道が末森城跡の搦め手につながり登りやすい道になっています。搦め手側の道も普及したら良いと思えます。また、末森城と喜多家文書の調査事業について、中間報告のようなかたちで成果の一部を町民に知らせるものを作成したらどうでしょうか。もう一つ、デジタル化した歴史資料のデータの公開について、デジタルデータを公開している石川県立図書館等とも連携して多くの人に利用してもらえるような方法を検討してはどうでしょうか。

事務局：搦め手については、予算に限りがあるためすぐには申せませんが、まず現況の確認に努めたいと思えます。調査事業については町民の皆様に、会報や講座など何らかの見えるかたちで成果の報告をしていきたいと思えます。まずはデータ化し、なるべく多くの方に見ていただけるようにしていきたいと思えます。